

1. 令和5年度事業内容等

No.	18	事業名	子育て支援に関する情報発信	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		紙及び電子媒体による乳幼児向けのイベントなど最新の子育て支援情報を入手しやすい環境を整えることで、在宅の子育て家庭等の孤立化を防ぐ。			
事業予定		1 区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の運用 子育て家庭が気軽に必要な情報を得ることができるよう、子育て支援情報サイトを運用し、子育て関係施設の紹介や各種子育て情報を発信する。区内の子育て関係機関のサイトや SNS と連携しやすくするなど、より充実したサイト運営を実施する。 2 紙面での子育て支援情報の提供 子育てサイトを利用しにくい家庭にも情報提供できるよう、年 2 回の「なかがわっ子サポートマップ」及び毎月の「キッズカレンダー」を作成する。 3 区役所内のキッズコーナーを活用した情報提供 区役所内キッズコーナー「すまいる」にて、地域子育て支援拠点や子育てサロン等のチラシを配架する。 4 保育案内人の出張相談 感染対策 子育てサロンや地域子育て支援拠点等に保育案内人を派遣し、保育所等への利用を希望する保護者等の相談に対応する。			
計画目標		区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」閲覧数 80,000 回			

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」閲覧数 80,000 回
実施内容	1 区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」の改修 子育て家庭の実情を踏まえ、新たな内容の掲載を開始し、令和5年1月よりスマホ最適化などの改修をするなど、子育て支援情報サイトでの情報提供の充実に努めた。 2 紙面での子育て支援情報の提供 子育てサイトを利用しにくい家庭にも情報提供できるよう、年 2 回の「なかがわっ子サポートマップ」及び毎月の「キッズカレンダー」を作成し、配布した。 3 区役所内のキッズコーナーを活用した情報提供 区役所内キッズコーナー「すまいる」にて、地域子育て支援拠点や子育てサロン等のチラシを配架した。 4 保育案内人の出張相談 子育てサロンや地域子育て支援拠点等に保育案内人を派遣し、保育所等への利用を希望する保護者等の相談に対応した。(16 か所 101 名対応)
実績	区独自の子育て支援情報サイト「なかがわっ子」閲覧数 72,332 回
総括	子育て支援情報サイトの掲載情報の充実により、閲覧数は令和3年度に比べ増えており(令和3年度比 16.6%増 1 月末時点)、提供した子育て支援情報がより子育て家庭に届きやすい環境を整えることができた。子育て家庭が欲しい情報をより得やすくなるような情報提供の工夫として、今後は各子育て関係機関のサイトや SNS との連携を充実する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	19	事業名	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課 関係部署(所) —				
趣 旨	面接や家庭訪問をとおして育児や家庭に関する相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。				
事業予定	1 妊婦面接の実施 <u>感染対策</u> 保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施し、安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援する。 2 新生児・乳児訪問の実施 <u>感染対策</u> 出生報告を提出された新生児・乳児と産婦とその家族が、育児不安を軽減し安心して育児に取り組めるよう、3(4)か月児健診までの乳児早期に、保健師・助産師が家庭訪問で相談対応、支援する。				
計画目標	・妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% ・出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%				

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	1 妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% 2 出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 98%
実施内容	1 妊婦面接 安心して出産・子育てできるよう、妊娠中から支援するために、保健師・助産師などが、妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方に面接を実施した。 2 新生児・乳児訪問 産婦やその家族が育児不安の軽減をはかり安心して育児に取り組めるよう、出生報告を提出された家庭に、保健師・助産師が3(4)か月児健診までの間に家庭訪問を実施した。
実績	1 妊娠届を提出された妊婦またはその家族の方への面接率 100% 2 出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問実施率 97.6%
総括	妊婦面接は100%できており、妊娠期からの支援は継続できている。 新生児・乳児訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期里帰りする方や訪問拒否をされる方もみられた。令和5年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した訪問の実施と関係機関との連携のもと、支援方法の検討をしつつ実施していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	20	事業名	中川区シェアブックス事業	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	中川図書館、富田図書館、保健センター保健予防課、中川児童館		
趣 旨	子育てサロンでの絵本の活用や、読み聞かせの実施、乳幼児健診時の紹介などを通して、赤ちゃんともわりの人が絵本を介して心を通わせるきっかけとなる体験を提供する。				
事業予定	1 子育てサロンなどでの絵本に触れる機会の提供 感染対策 子育てサロン開催場所に設置した絵本を活用し、子育てサロン開催時などに絵本に親しむ機会を提供する。 2 読み聞かせボランティアの派遣の充実 感染対策 子育てサロン等の子育て支援機関や各種イベントに読み聞かせボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせを通した心温まる体験を提供する。読み聞かせの提供が充実するよう、関係機関への周知等に努める。 3 3（4）か月児健診時の広報・啓発 感染対策 3（4）か月児健診に来所した子育て世帯に対し、事業の趣旨を広報・啓発し、絵本を手にとってもらう機会を提供するとともに、可能な限り希望者への読み聞かせを実施する。				
計画目標	・読み聞かせボランティアの活動件数 40 件 ・3（4）か月児健診時に絵本を手にとってもらう機会の提供 12 回				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	読み聞かせボランティアの活動件数 36 件
実施内容	1 子育てサロン等での絵本に触れる機会の提供 子育てサロンの開催場所や区役所、児童館等に 0 歳児向けの絵本を設置し、子育てサロン開催時などに絵本に親しむ機会を提供した。 2 読み聞かせボランティアの派遣 子育てサロン等の子育て支援機関や各種イベントに読み聞かせボランティアを派遣し、絵本の読み聞かせを通した心温まる体験を提供した。 3 3（4）か月児健診時の広報・啓発 3（4）か月児健診に来所した子育て世帯に対し、事業の趣旨を広報・啓発し、絵本を手にとってもらう機会を提供した。
実績	読み聞かせボランティアの活動件数 25 件
総括	子育てサロンなどに絵本を設置し、子育てサロン開催時に絵本に親しむ機会を提供するとともに、子育て支援イベントを中心に読み聞かせボランティアを派遣することができ、子育て家庭が絵本に親しむ様々な機会を提供できた。多くの子育て家庭に絵本に親しむ機会を提供する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	21	事業名	子育て支援講座の開催	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	中川児童館	
趣 旨		子育て支援講座を開催し、親自身が子どもとのかかわり方などについて学ぶことにより、子育てに関する不安を軽減させるとともに、支援が必要な家庭を把握し、地域の子育て支援につなげていく。			
事業予定		1 スターペアレンティング講座の開催 感染対策 子ども・子育て支援センター共催講座として、親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶワークショップ中心の連続講座を中川児童館が中心となって開催する。 2 「フレッシュママの子育て入門」の開催 感染対策 生後4～7か月のお子様を対象に、0歳児の特性や生活リズムを学びベビーマッサージやリトミック等親子のふれあいを行う講座を開催する。 3 幅広い年齢の子を対象とした子育て家庭向け支援講座の開催 感染対策 区内の子育て支援関係団体で構成する「中川子育て支援ネットワーク」と連携するなど工夫しながら、幼児期や小・中学生程度の子がいる子育て家庭に向けた内容の講座を開催する。			
計画目標		子育て支援講座の開催 10回以上			

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	子育て支援講座の開催 10回以上
実施内容	1 スターペアレンティング講座の開催 子ども・子育て支援センター共催講座として、親自身も大切にしながら、叩かず、甘やかさず、楽しみながら子育てするための方法を学ぶワークショップ中心の連続講座を中川児童館が中心となって3回開催。 2 「フレッシュママの子育て入門」の開催 生後4～7か月のお子様を対象に、0歳児の特性や生活リズムを学びベビーマッサージやリトミック等親子のふれあいを行う講座をオンラインと対面で5回開催。 3 イライラしない子育て講座の開催 子育てのちょっとしたコツを講座やロールプレイ等で学ぶイライラしない子育て講座を2回開催。 ※いずれの講座も、開催の際は事前予約にて実施。
実績	子育て支援講座の開催 10回
総括	オンラインも活用しながら、講座の開催ができた。また、イライラしない子育て講座は、乳児のみならず幼児や学齢期の子がいる子育て家庭に参加いただくことができた。 ただ、オンラインの講座は1回の参加者が少なかったことから、感染対策も徹底し、可能な限り対面での講座実施に努める必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	22	事業名	発達に遅れのある子どもの親を対象とした支援	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署（所）	—		
趣 旨	発達に遅れのある子どもの親が、教室やグループ活動をとおして、正しい知識を持ち、情報交換をしながら共通の悩みや育児不安を解消できるようにする。				
事業予定	パンダグループの実施 <u>感染対策</u> [対象]発達に遅れのある子どもの親 [内容]先輩ママの協力を得ながら、交流会、勉強会を継続する中で、リーダーママの継承も試みる。また、講演会をパンダグループ参加者や、その他の子どもの発達に悩みを抱える親支援の場として開催する。				
計画目標	パンダグループの開催（講演会を含む） 8回				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	パンダグループの開催（講演会を含む） 7回
実施内容	発達に遅れのある子どもの親を対象に、先輩ママの支援を得ながら交流会を実施した。またパンダグループ参加者以外にも広報し、講演会を実施した。
実績	パンダグループの開催（講演会を含む） 8回
総括	過去2年間、感染症拡大の影響で、継続的な開催ができなかったことから、グループリーダーママの継承が困難になっている。そこで令和4年度は、先輩ママの協力と参加を積極的に行い、当事者ニーズに沿った交流会の内容等へ工夫をしながら実施した。参加者の満足度も高く、今後も参加者の悩みや声を聴きながら、運営方法の検討をしつつ継続していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	23	事業名	子育て家庭向け交流イベントの開催	区分	拡充
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		子育て家庭同士の交流を深めたり、子育てサロンや地域子育て支援拠点といった子育て関係機関の支援につなげることを目的として、子育て家庭向け交流イベントを開催し、地域での子育て家庭の孤立化を防ぐ。			
事業予定		1 子育て家庭の交流の場としてのイベント開催 <u>感染対策</u> 区内の子育て関係機関や活動団体で構成する「中川子育てネットワーク連絡会」で主催し、大規模に子育て家庭を集めるイベントや屋外での地域密着型イベント等様々な方法で開催し、子育て家庭の交流の場の提供、日常の子育て支援へつなげていくことを目指す。 2 子育てスタンプラリーの開催【新規】 <u>感染対策</u> 区内の子育てサロンや地域子育て支援拠点等、日常の子育て支援への参加を促すために、スタンプラリーを実施し、子育て家庭が新たに子育て支援機関とつながりを作るきっかけとする。			
計画目標		子育てスタンプラリーの参加者 500 組			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	子育て家庭向け交流イベントの開催 3 回
実施内容	1 屋外でのイベント実施 5 月に高畑公園にて子育て家庭向け交流イベントを実施。 公園で実施したことで感染対策に加え、イベントを知らずに公園に訪れた子育て家庭が飛び入りで参加するなどの効果があった。 2 広い室内での大規模イベントの実施 10 月に富田北プール体育室、12 月に区役所講堂において子育て家庭向け交流イベントを実施。それぞれ 62 組、75 組が参加するイベントとして多くの子育て家庭の参加があった。 いずれも区内の子育て関係機関で構成する「中川子育てネットワーク連絡会」で主催し、内容の充実を図った。
実績	子育て家庭向け交流イベントの開催 3 回
総括	屋外イベントでは公園開催ならではの新たな効果があった。季節や雨天対策等を考慮しながら、今後も実施していきたい。 屋内でのイベントでは、想定を超える参加や、定員がすぐ埋まってしまうなど、子育て家庭に向けた交流イベントへのニーズが高いことが改めてわかった。中川子育てネットワークがますます連携を深め、広く周知することで支援の場につながるきっかけを作る必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	24	事業名	地域における子育て支援の人材育成と活動促進	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨		子育て支援の担い手となるボランティア「なかがわっ子サポーター」を養成し、子育てサロンや子育て家庭の交流イベント等の活動の場を提供することで、地域での継続的な子育て支援活動を促進する。			
事業予定		1 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 感染対策 子育て支援の担い手としてのなかがわっ子サポーターに必要なことを学ぶ講座を開催し、区内の子育て支援の担い手を養成する。 2 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 感染対策 なかがわっ子サポーターとしてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付け、多様なニーズに対応できるための講座を開催する。 3 区内の高校との連携によるなかがわっ子高校生講座の開催 感染対策 区内の高校に通う生徒を対象に、高校生が区内の子育て支援に積極的に参加する機運を醸成するような講座を開催する。 4 なかがわっ子サポーターの活動支援 なかがわっ子サポーターの活動の場の提供など活動の支援を実施する。			
計画目標		なかがわっ子サポーター延べ活動件数 300 件			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 288 件
実施内容	1 なかがわっ子サポーターの活動の場の確保・活動支援 各機関の集まる会議等で活動内容や活動の仕方等積極的に周知を図った。 2 なかがわっ子サポーター養成講座の開催 子育て支援の担い手としてのなかがわっ子サポーターに必要なことを学ぶ講座をオンラインで開催し、託児実践を行うことで、サポーターの担い手を増やすことができた。 3 なかがわっ子サポーターステップアップ講座の開催 なかがわっ子サポーターとしてのスキルアップを目指し、より専門性の高い知識を身に付け、多様なニーズに対応できるための講座を開催した。 4 区内の高校との連携によるなかがわっ子高校生講座の開催 区内の高校に通う生徒を対象に、乳幼児を育てる子育て家庭の現状や支援の実態を学び、児童虐待防止推進月間の啓発物品のデザインを考える機会を提供し、高校生が区内の子育て支援に積極的に参加するきっかけを作った。
実績	なかがわっ子サポーター延べ活動件数 238 件
総括	子育て支援の場やイベントの実施が再開される中、積極的な周知の結果、なかがわっ子サポーターの活動機会を増やすことができた。 また、なかがわっ子高校生講座をコロナ禍においても実施できる内容とすることで、区内の高校生が子育て支援に参加する機会を提供できた。今後も活動機会の充実に向けて積極的な周知や講座の充実を図る必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	25	事業名	地域の子育てサロンの運営支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	保健センター保健予防課 中島保育園（エリア支援保育所）		
趣 旨	保育士や保健師などの専門職、保育案内人を地域の子育てサロンに派遣し、日常の置き場所がない大型絵本や遊具の保管・貸し出しを行うことにより、地域の子育てサロンの活動内容の充実や運営の支援につなげ事業の活性化を図る。				
事業予定	1 専門職等の職員派遣 感染対策 エリア支援保育所等の保育士や保健センターの保健師、保育案内人を子育てサロンに派遣し、各種講座の開催やより専門的な相談を受ける等の活動を実施する。 2 子育て支援物品の貸し出し サロン開催場所では置き場所に困るような大型絵本をはじめとする子育て支援物品を地域子育て支援センターなどに置き、子育てサロンへの貸し出しを実施する。				
計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 230 件
実施内容	1 専門職等の職員派遣 エリア支援保育所等の保育士(102 件)、 保健センターの保健師(42 件)、 保育案内人(10 件) といった専門的な職員を子育てサロンに派遣し、各種講座の開催やより専門的な相談を受ける等の活動を実施した。 2 子育て支援物品の貸し出し サロン開催場所では置き場所に困るような大型絵本などを別途保管し、子育てサロンへの貸し出しを8件実施した。
実績	専門職の派遣及び子育て支援物品の貸出 162 件
総括	子育てサロンの開催が活発になるにあたり、専門職の職員派遣への要望の高まりに応じた派遣ができた。 子育て支援物品の貸出についても、令和3年度に比べ増加している。 今後も子育てサロンの運営支援の充実を図っていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	26	事業名	児童虐待防止の推進・啓発	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課 西部児童相談所		
趣 旨	児童虐待防止月間を中心として、区民への児童虐待防止ダイヤル「189」を広報することで、児童虐待の未然防止や早期発見につなげるとともに、関係機関との会議、システムを活用した情報共有を実施し、児童虐待への適切な対応を図る。				
事業予定	1 児童虐待防止の広報・啓発活動 感染対策 児童虐待防止や早期発見につなげるために、児童虐待防止ダイヤル「189」の広報・啓発を促進するために、関係機関と連携し、商業施設などでの幅広い広報啓発を実施する。 2 要保護児童対策地域協議会の開催 感染対策 「なごやこどもサポート中川区代表者会議」、「中川区実務者会議」、個別の「サポートチーム会議」の各会議を通し、要保護児童等の情報共有及び関係機関における連携支援の強化を図った。 3 児童虐待情報データベースシステムの活用 システムを活用し、関係機関同士がリアルタイムに状況を共有し、連携した支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見対応等に結びつける。				
計画目標	より広い区民への児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発の促進				

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発の促進
実施内容	1 児童虐待防止の広報・啓発活動 条例に基づき定められた5月と11月の児童虐待防止推進月間を中心として児童虐待防止ダイヤル「189」の広報・啓発活動を実施した。 令和4年度は市立工業高校の生徒に啓発物品のデザインを作成してもらい、一緒に広報・啓発活動を行う等、新たな観点で広報・啓発に努めた。 また、「イライラしない子育て講座」を開催し、子育て家庭の支援となる講座を実施した。(再掲) 2 要保護児童対策地域協議会の開催 「なごやこどもサポート中川区代表者会議」(年1回)、「中川区実務者会議」(年12回)、個別の「サポートチーム会議」(本区年3回、支所年6回)の各会議を開催し、要保護児童等の情報共有及び関係機関における連携支援の強化を図った。 3 児童虐待情報データベースシステムの活用 システムを活用し、関係機関同士がリアルタイムに状況を共有し、連携した支援の実施及び児童虐待の発生予防、早期発見対応等に結びつけた。
実績	児童虐待防止ダイヤル「189」の広報啓発を促進した。
総括	新たに市立工業高校の生徒と連携しての広報・啓発や新たな商業施設での啓発活動を実施するなど広報・啓発に努めた。 今後も児童虐待の未然防止や早期発見につなげるべく、関係機関との連携を深め商業施設などでの啓発活動を引き続き行う必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	27	事業名	子ども連れの来庁者が安心して過ごせるスペースの運営	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	—		
趣 旨	子どもが遊べるコーナーや子育て情報コーナーを備え、子ども連れの来庁者が安心して過ごせるよう、キッズスペースを設置、運営する。				
事業予定	・ なかがわっ子サポーターによる来庁者向け活動の促進 感染対策 子育て家庭の来庁が多く見込まれる時期を中心に、子育て家庭が安心して手続きを行えるよう、キッズコーナー「すまいる」等においてなかがわっ子サポーターによる託児等の活動機会を広げ、子育て家庭が安心して手続きできるような環境をつくる。				
計画目標	来庁者が安心して過ごせるためのなかがわっ子サポーターの活動件数 50 件				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	来庁者が安心して過ごせるためのなかがわっ子サポーターの活動件数 50 件
実施内容	・ なかがわっ子サポーターによる来庁者向け活動の促進 子育て家庭の来庁が多く見込まれる保育園入所面接の時期に、子育て家庭が安心して手続きを行えるよう、キッズコーナー「すまいる」などにおいてなかがわっ子サポーターによる託児を実施した。
実績	来庁者が安心して過ごせるためのなかがわっ子サポーターの活動件数 37 件
総括	窓口が混雑する保育園入所面接受付の際などになかがわっ子サポーターが託児する活動を実施し、利用者である保護者が子どもを預けて入所面接に対応できる環境を整えることができた。 今後もこのような環境を提供していく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	28	事業名	青少年育成区民大会・青少年音楽のつどいの開催	区分	継続
担当課		地域力推進室	関係部署（所）	—	
趣 旨		青少年育成区民大会は、青少年が各校の取り組みについて趣向を凝らして発表し情報交換することで健全育成・非行防止を促進する。青少年音楽のつどいは、青少年が自分たちで協力し合いながら発表会を運営し、チラシデザインの製作などを行うことで自主性を育成するとともに、学校の垣根を超えた連帯感を醸成し、青少年育成を促進する。			
事業予定		・青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和6年1月 [場 所] 中村文化小劇場 新型コロナウイルス感染状況に応じて開催できるよう、規模・運営方法・対応策について引き続きフレンドシップ協定締結校を中心に協議のうえ実施する。 なお、中川文化小劇場は工事により使用できないため、中村文化小劇場で開催する。			
計画目標		青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回
実施内容	・青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 感染対策 [実施時期] 令和5年1月 [場 所] 中川文化小劇場 [内 容] ・フレンドシップ協定締結校生による青少年による問題に対する取り組みの発表を通じた情報交換 ・フレンドシップ協定締結校生による音楽活動の発表と運営 ・区内中学生による音楽活動の発表（動画出演） ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底
実績	青少年育成区民大会・音楽のつどいの開催 1回
総括	フレンドシップ協定締結校を中心に協議を重ね、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで区内の青少年が自分たちで協力し合いながら運営するかたちで発表会を開催し、自主性を育成することができた。また、新型コロナウイルス感染対策により例年よりも発表会当日に青少年が参加できる場を用意できなかったため、後日区公式ウェブサイトにて動画配信を行い区内の青少年へ情報発信を行った。学校の垣根を超えた連帯感を醸成するためには青少年が発表や運営に参加し交流することが重要であるため、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえでより多くの青少年が参加できるようフレンドシップ協定校を中心に今後も実施方法を検討する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	29	事業名	子ども会活動への支援	区分	継続
担当課		民生子ども課	関係部署（所）	—	
趣 旨	子どもたちが、地域の中で異年齢間での交流などさまざまな体験を通じて、主体性や社会性を身につけられるよう、子ども会活動を支援し、子ども会活動の活性化を図るため、区子ども会連合会の活動を支援する。				
事業予定	1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付する。 2 区子ども会連合会主催のキャンプや各種行事に対する運営及び情報発信を支援する。 3 魅力的な子ども会活動の実施に向け支援する。				
計画目標	子ども会の情報発信及び魅力ある活動に向けた支援				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	子ども会活動の情報発信及び魅力ある活動に向けた支援
実施内容	1 子ども会に対して、会員数に応じた運営助成金を交付した。 2 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により代替行事となったものもあったが、子ども会大会やドッジボール大会など区子ども会連合会行事の開催に向け、運営を支援した。また、区子ども会連合会のホームページで、子ども会活動を紹介するなどの情報発信を支援した。 3 区民まつりにおいて区子ども会連合会として初参加し、令和3年度に参加したドリームプロジェクトの紹介として子ども達の夢をのせたトラックの披露やトラックの乗車体験、紙工作体験のブース運営を支援した。
実績	区子ども会連合会の行事再開に向けた活動及び魅力ある子ども会活動に向けた情報発信を支援した。
総括	新型コロナウイルス感染症の影響があるなかで、区子ども会連合会の行事再開に向けた支援を行ったが、参加学区は少ない状態であった。そのため、今後も引き続き、積極的な情報発信と魅力ある活動実施に向けた支援が必要である。

1. 令和5年度事業内容等

No.	30	事業名	思春期セミナーの実施	区分	継続
担当課	保健センター保健予防課	関係部署(所)	—		
趣 旨	講話や体験をととして、いのちの大切さを学び、性について考え行動する力を身につけるセミナーを、区内の小学校、中学校と連携して行う。				
事業予定	1 小学校におけるセミナーの開催 感染対策 各学校の実施状況や課題に関して、啓発・相談支援を実施する。主に未実施校の4年生を対象にいのちの大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化 2 中学校におけるセミナーの開催 感染対策 性に関する知識を学ぶ講話を中心に実施する。 [講話内容]人生設計と性の自己決定(望まない妊娠防止)、身近な相談先 3 中学校(特別支援級)におけるセミナーの開催 感染対策 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施する。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の変化、プライベートゾーン、人との距離感				
計画目標	・思春期保健の啓発・セミナーの実施 ・小学校 24 校 中学校 11 校				

2. 令和4年度の実施結果

(評価:☆☆☆)

計画目標	思春期セミナーの実施 小学校 23 校 中学校(特別支援級含む) 8 校
実施内容	1 小学校 主に4年生を対象に命の大切さを学べるよう、講話や体験学習を実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験 2 中学校 性に関する知識を講話中心として実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、人生設計と性の自己決定、身近な相談先を知る [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験、デートDV劇 3 中学校(特別支援級) 健全な性意識を持てるように、講話や体験学習を実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、プライベートゾーン、パーソナルスペース体験 [体験学習]赤ちゃん人形の抱っこ体験 4 中川区養護教諭 望まない妊娠の実情について講話を実施。中学校などの実施に向けた必要性について啓発の機会とした。
実績	小学校 22 校、中学校(支援級含む) 9 校で実施
総括	新型コロナウイルス感染症の影響下、主体的に実施できる学校もみられ始めた。経年で実施しつつある学校の定着を図るとともに、未実施校については実施できる機会を検討していく必要がある。中学校においては望まない妊娠への予防・啓発の機会を勧めていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	31	事業名	高校生向け思春期保健事業		区分	継続
担当課	保健センター保健予防課		関係部署（所）		—	
趣 旨	人工妊娠中絶は母体の心身への影響が懸念されている。望まない妊娠や 10 代の妊娠中絶を防止するために、思春期の時期から「いのちの大切さと正しい性知識」を普及することが必要である。 そのため、区内の高校と連携し若者が望まない妊娠や性感染症を自ら回避する力を身につけるため、高校生向けの事業を開催する。					
事業予定	各高校が思春期セミナーを継続して実施できるように、学校保健委員会などで啓発する。未実施校については、いのちの大切さと正しい性知識についての講話を実施できるよう情報提供等相談支援を行う。 感染対策 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、人生設計と性の自己決定、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [そ の 他]リーフレットおよび相談先カードの配布					
計画目標	思春期保健の啓発・セミナーの実施 2 校					

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	高校における思春期セミナーの開催 2校
実施内容	高校主体で命の大切さと正しい性知識を学べるよう、講話および体験を実施。 [講話内容]いのちの大切さ、思春期の体とこころの変化、人生設計と性の自己決定、LGBT、人工妊娠中絶・避妊・性感染症について、子どもの権利、身近な相談先を知る [そ の 他]リーフレットおよび相談先カードの配布
実績	思春期セミナー開催 1校
総括	学校主体で実施できている高校もある。今後も実施状況を共有しながら、高校での思春期セミナーの定着を目指し、課題の共有と相談対応等継続する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	32	事業名	生活保護世帯等の中学生の学習支援	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署（所）	支所区民福祉課		
趣 旨	生活保護世帯・ひとり親家庭の中学生に対し、学習会への参加を促し、学力向上、高校進学をめざす。				
事業予定	5月に生活保護世帯・ひとり親世帯の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業についてのパンフレットを送付し、地区担当員による家庭訪問などにより参加を勧奨する。また、8月から随時募集で新たな参加者を募る。参加した児童の状況を事業者とも連携して見守り、必要な助言支援を地区担当員から行う。 <u>感染対策</u>				
計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	学習支援への参加率 30%（継続参加率 90%）
実施内容	5月に生活保護世帯・ひとり親世帯の中学1年生から3年生を対象とした世帯に学習支援事業についてのパンフレットを送付し、地区担当員による家庭訪問などにより参加を勧奨する。また、8月から随時募集で新たな参加者を募る。参加した児童の状況を事業者と連携して見守り、必要な助言支援を地区担当員から行っている。
実績	学習支援への参加率 25.0%（継続参加率 93.5%）
総括	参加者数は少ないものの、参加した児童は学習の習慣はつき、事業の目的である高校進学による将来的な経済的自立の土壌づくりに寄与するとともに、家庭や学校以外の居場所や相談先として有用となっている。 家庭訪問、電話、手紙などを活用し、上記の点について粘り強く説明し、保護者、児童の理解を深め、参加者数の増加に努める必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	33	事業名	「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けての取り組み	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	誰もが自分らしく安心して暮らせるよう区地域包括ケア推進会議を中心として「地域包括ケアシステム※1」の深化・推進をめざす。				
事業予定	1 地域包括ケア推進会議等の開催 感染対策 地域包括ケアシステムにおける課題の集約と対応方針、支援体制を検討するために以下の会議を開催し、各機関の連携を図るとともに、効率的・効果的な会議運営を行う。 （１）区地域包括ケア推進会議（区の地域包括ケアシステム構築の推進母体） （２）認知症専門部会（認知症の普及啓発、地域ネットワークの構築など） （３）生活支援部会（生活支援ニーズの把握や情報の見える化など） （４）孤立（虐待）防止ネットワーク部会（地域支援ネットワークの推進など） 2 地区診断※2等を受けての取り組み 感染対策 蓄積した地域の情報や新たな統計調査データを基に地域課題を分析し、地域と協働した対応を進める。また、区全域で運動機能低下者割合が高い課題について、多様な活動主体と連携した情報提供や地域の取り組みにつなげる。				
計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 2回以上 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回				

※1 地域包括ケアシステム

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・在宅医療と介護の連携・認知症施策・生活支援・住まいが包括的に確保される仕組み。

※2 地区診断

地域包括ケアに関わる各機関が、把握している学区ごとのニーズ、社会資源等の情報や統計データ等に基づき、地域の課題等を分析し、共有するもの。

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 2回以上 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回
実施内容	1 地域包括ケア推進会議等の開催 新型コロナウイルス感染症拡大に注意し、区地域包括ケア推進会議を2回、認知症専門部会を3回、生活支援部会を2回、孤立（虐待）防止ネットワーク部会2回、各会議対面で開催し、関係機関と情報共有、意見交換を行った。 2 地区診断等を受けての取り組み 区内の各地域で行われている介護予防の取り組みについて調査し、関係機関で情報共有を行った。また、個別の地域課題に対する取り組みを継続するとともに、新たに昭和橋学区において地域ケア会議を実施し、地域課題について地域住民をはじめ関係機関と協議を行った。
実績	・区地域包括ケア推進会議の開催 2回 ・認知症専門部会の開催 3回 ・生活支援部会及び孤立（虐待）防止ネットワーク部会の開催 各2回
総括	医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者、民生委員等、医療・介護・地域福祉に関わる多くの機関と各種取り組みの方向性や内容について情報共有・意見交換を行い、地域包括ケアシステムの深化推進を図ることができた。今後、コロナ禍で変化した地域の状況も把握し、より議論を深めていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	34	事業名	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みづくりを進める。				
事業予定	1 認知症サポーター養成講座の開催 感染対策 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座を地域や関係機関と連携して周知し開催する。 2 認知症セミナー・講演会の開催 感染対策 認知症に関する専門職の知見を聴くことで認知症の予防や支援につなげるための区民向けのセミナーを区医師会等と連携し実施するほか、講演会を開催する。 3 「中川区認知症のしおり」の普及啓発 認知症になったときに進行に併せて利用できる医療・介護サービスや相談先を紹介する「中川区認知症のしおり」を関係機関の窓口や認知症専門部会事業等で説明・配布し、普及啓発する。				
計画目標	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和5年度末までの累計）16,200人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和4年度末までの累計）14,500人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回
実施内容	1 認知症サポーター養成講座の開催 月1回の定例講座を開催した他、出張講座を12回、休日講座を2回開催した。また、区職員に講座を実施し区職員受講率100%を達成するとともに、他公所（署）へ受講勧奨を行った。 2 認知症セミナー・講演会の開催 令和4年11月6日（日）に認知症セミナーを開催し、85名が参加した。令和4年11月16日（水）に認知症講演会を開催し、74名が参加した。 3 「中川区認知症のしおり」の普及啓発 関係機関職員が中川区版認知症のしおりを使用し、窓口での相談時に認知症当事者、家族などへの説明を行うとともに、認知症サポーター養成講座、認知症講演会で配布した。また、家族介護者、認知症専門職、その他関係機関と協議し、内容の改訂を行った。
実績	・認知症サポーター養成講座受講者数（令和4年度末までの累計）12,383人 ・認知症セミナー・講演会を実施 各1回
総括	認知症サポーター養成講座受講者数はコロナ禍後の講座中止や参加者減少もあり、目標値に達しなかった。参加者増加のために定例講座をはじめ、休日講座やオンライン受講についても地域や事業所への周知広報をしていく必要がある。認知症セミナー・講演会、認知症のしおりによる認知症の正しい知識の普及は関係機関と連携して取り組みを進めることができた。今後も効果的な取り組みとなるよう関係機関と協議して進めていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	35	事業名	高齢者が地域で暮らしていくための生活支援・見守り支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	高齢者の生活支援ニーズを把握し、気軽に利用できるよう取り組みの充実を図り、高齢者を適切な関係機関につなげる仕組みづくりを進める。				
事業予定	- 生活支援ガイドブックの更新 高齢者の生活に役立つ区内で提供される多様な生活支援サービス・活動を案内するガイドブックについて、更新し普及啓発を図る。 - 地域活動の参加促進 感染対策 講演会と地域活動の紹介を行うセカンドステージセミナーを多様な媒体で広報し開催することで、地域活動と関わりが少なかった方の参加勧奨を行う。また、地域活動紹介動画のオンライン配信により地域活動の参加を促す。 - 高齢者サロン・共生型サロン実施の推進 感染対策 高齢者の身近な交流の場である高齢者サロン・共生型サロンの拡大・充実のため、開設・運営における情報提供、相談支援や専門職の派遣を実施する。 - 覚え書きカードの活用 緊急連絡先、民生委員、ケアマネジャー、かかりつけ医等を記入するカードを配布し、訪問時や緊急時に関係機関と連携した支援を図る。 - 数え100歳のお祝い 数え100歳に達する高齢者のご長寿をたたえ、敬老金の贈呈（市事業）に併せて保育園児作成のメッセージカードを贈呈する。				
計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和5年度末） 122 か所				

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆☆）

計画目標	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和4年度末） 122 か所
実施内容	- 生活支援ガイドブックの更新 サロンや支えあいの活動等、互いに助けあう地域の取り組みや高齢者が生活する上での役立つ情報を記載した更新版を作成した。 - 地域活動の参加促進 感染対策 令和4年11月26日（土）に地域活動の参加を促すセカンドステージセミナーを実施し、85名が参加した。また、地域活動の紹介動画を作成し、オンライン（YouTube）にて配信した。 - 高齢者サロン・共生型サロンの実施を推進 サロン交流会を実施しサロン同士の情報交換を実施した。また、サロンの開催状況を確認しサロンマップを更新した。 - 覚え書きカードの活用 民生委員、ケアマネジャーへ覚え書きカードの配布方法について説明するとともに、関係機関や地域の会合で覚え書きカードを配布し周知を行った。 - 数え100歳のお祝い 数え100歳の高齢者へ保育園児作成のメッセージカードを贈呈した。
実績	高齢者サロン・共生型サロンの実施数（令和4年度末） 119 か所
総括	地域住民、民生委員等から高齢者の生活ニーズを聞き取り、支援につなぐ取り組みを進めた。今後も生活支援につなげる多様な手法を検討する必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	36	事業名	地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の推進	区分	新規
担当課	福祉課	関係部署（所）	社会福祉協議会、支所区民福祉課、民生子ども課、保健センター保健予防課		
趣 旨	分野別の既存の枠組みを超えた、相談支援、参加支援及び地域づくり支援を一体的に実施することにより、制度の狭間の問題や複合的な課題を抱える世帯に寄り添い、伴走する支援体制の構築を進める。				
事業予定	1 包括的相談支援チームによる支援 <u>感染対策</u> 保健福祉に関する資格を持つ者や、相談支援経験を積んだコミュニティソーシャルワーカー等で構成される「包括的相談支援チーム」により、以下の事業を行い、適切な支援が届いていない世帯や複合的な課題を抱える世帯を伴走型支援や複数機関と連携した支援につなぐ機能を強化する。 （１）多機関協働事業（複合的課題への相談支援機関の役割分担の整理） （２）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（訪問等による支援世帯との関係構築、継続的な相談支援） （３）参加支援事業（支援世帯の状況に応じた社会とのつながりづくり） （４）地域づくり支援事業（世代や属性を超えて利用できる社会資源の拡充） 2 区連携会議の開催 <u>感染対策</u> 重層的支援体制整備事業における相談支援機関の連携体制の協議、情報共有及び区で必要な取り組みの検討を行う、区連携会議を開催する。				
計画目標	区連携会議の開催 2回				

1. 令和5年度事業内容等

No.	37	事業名	障害者の地域生活支援	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	総務課、支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	区障害者自立支援連絡協議会※との連携などを通じて、障害者の地域生活支援の充実を図る。				
事業予定	1 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 感染対策 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会などを開催し、支援者間の連携・スキルアップをめざす。コロナ禍で対面実施が困難な場合はオンラインなどにより継続的な実施を目指すとともに、WEB 会議サービスのグループ分け機能などを活用して議論の活性化を目指す。 2 私の防災ノート及び在宅避難のすすめなどの普及啓発 感染対策 障害者やその支援者が災害に対する備えを十分にすることができるよう、障害部門のみではなく他機関等とも連携しながら、私の防災ノートや在宅避難のすすめについての広報や、出張なるほど講座の開催など、障害者の防災に係る普及啓発を行う。				
計画目標	- 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 15 回以上 - 私の防災ノート、在宅避難のすすめに係る講座などの実施 1 回以上				

※障害者自立支援連絡協議会

障害のある方が安心して暮らせる地域をつくるため、障害者団体・障害福祉サービス事業者・行政などが障害福祉に関する地域での連携や支援の体制などを話し合う会議。

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆☆)

計画目標	- 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 12 回以上 - 私の防災ノート、在宅避難のすすめに係る講座などの実施 1 回以上
実施内容	1 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 障害福祉に関する事例検討会や障害福祉サービス事業者向けの勉強会を対面で13回、オンラインで2回行った。 2 私の防災ノート及び在宅避難のすすめなどの普及啓発 区総合防災訓練に参加し、訓練ブースにおいて、私の防災ノート等の普及啓発を行った。このほか、中川消防署と合同で火災図上訓練を実施した。
実績	- 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 15 回 - 私の防災ノート、在宅避難のすすめに係る講座などの実施 1 回
総括	事例検討会などの実施のほとんどを対面で行うことができ、議論を深めながら、支援者間の連携・スキルアップを図ることができた。今後も支援の現場から地域課題を吸い上げ、連携強化につながる形で実施する必要がある。 私の防災ノートに係る講座については、車いす体験等と合わせて行うことにより、障害者への配慮をより深める形で啓発を行うことができた。また、消防署との合同訓練は、専門機関からの指導・助言により高い効果が得られた。今後も他機関と連携するなど効果的な普及啓発の方法を考えていく必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	38	事業名	障害の理解の促進	区分	継続
担当課	福祉課	関係部署（所）	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
趣 旨	障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会を実現するために、区障害者自立支援連絡協議会を中心に様々な機会を設けるなどして障害の理解の促進を図る。				
事業予定	1 チームメッセンジャー事業※の実施 感染対策 社会福祉協議会など他機関と連携しながら、障害者（メッセンジャー）やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて障害に関する出前講座を行う。 2 区民まつりへの出展 感染対策 障害について身近に感じられるよう、区民まつりに区民が障害者やその支援者と一緒にボッチャの体験などができるブースを出展する。 3 授産製品販売の促進 感染対策 障害者の社会参加や地域とのつながりづくり、また障害者の就労支援にもつなげるため、事業所との連絡調整などを行い区役所・支所での授産製品販売を促進する。また、各事業所などで扱っている授産製品の広報を行う。				
計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 3回以上 ・区民まつりへの出展 1回 ・授産製品販売の実施 月あたり15回以上				

※チームメッセンジャー事業

障害に対して正しい理解をもていただくために、障害のある方やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて障害に関する出前講座を行うもの。

2. 令和4年度の実施結果

(評価：☆☆)

計画目標	・チームメッセンジャー事業の実施 2回以上 ・区民まつりへの出展 1回 ・授産製品販売の実施 月あたり20回以上
実施内容	1 チームメッセンジャー事業の実施 社会福祉協議会の福祉教育などと連携し、区内の小学校・高校で車椅子体験等の出前講座を3回実施した。 2 区民まつりへの出展 ボッチャ体験ブースを出展し、区民と障害者やその支援者との交流を深めた。 3 授産製品販売の促進 区役所・支所での授産製品販売を月あたり10回実施した。コロナ禍で販売を見合わせる事業所が多く販売回数が目標を下回ったので、代替として広報なごや11月号の区民版の障害者福祉の特集に合わせ、各事業者が取り扱っている授産製品の紹介記事を掲載した。
実績	・チームメッセンジャー事業の実施 3回 ・区民まつりへの出展 1回 ・授産製品販売の実施 月あたり10回(代替あり)
総括	チームメッセンジャー事業や区民まつりへの出展により区民が障害に対する理解を深めるきっかけづくりを行うことができた。今後も障害者と区民が実際に交流する場づくりを行う必要がある。 授産製品販売については、販売回数が回復傾向にあるものの、目標を下回ったので、事業所との連絡調整などにより区役所・支所での販売日数をふやすとともに、広報に力を入れる必要がある。

1. 令和5年度事業内容等

No.	39	事業名	区民の健康づくりの推進	区分	継続
担当課		保健センター保健予防課	関係部署（所）	—	
趣 旨		がんは早期発見による早期治療が可能なため、全年齢に対してがん検診の必要性を普及啓発していく。特に、乳がんは自己触診法で発見できるため、講座を開催し知識の普及を行う。あわせて、健康で豊かな生活のため、ロコモティブシンドロームなどの知識を普及し、生活習慣病の予防につなげる。			
事業予定		- がん検診の普及啓発 子育て中の母親や高齢者の集まるサロンなどで、がん検診の積極的な啓発・案内を行い、受検率の向上を目指す。 - 乳がん講座の開催 <u>感染対策</u> 主に乳がん検診の実施時に合わせて乳がんに関する講座を開催し、ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）の案内や乳がんモデルを活用した自己触診法の説明を行う。 - 健康相談の実施 <u>感染対策</u> 区民まつりなどで健康相談のほか、血圧測定や推定野菜摂取量の測定などを行うことで幅広い市民の健康相談ニーズに応え、生活習慣病やフレイル予防につなげていく。			
計画目標		・乳がん講座の開催 4回 ・出張健康相談の実施 1回			

2. 令和4年度の実施結果

（評価：☆☆）

計画目標	・乳がんの講座の開催 4回 ・区民まつりで健康相談の実施 1回
実施内容	- がん検診の普及啓発 新型コロナウイルス感染症の影響により多くのサロンが中止・縮小されたが、保健センターの窓口に来庁された方や区民まつりに参加された方などへの積極的な案内や、パンフレットの配付・配架を行った。 - 乳がん講座の開催 地域の子育てサロンや区民まつりで若年層を中心に乳がんモデルを用いた自己触診法の説明を行い、乳がん検診の受検を積極的に案内した。また、乳がん検診時に自己触診法の普及啓発を行った。 - 健康相談の実施 区民まつりで約80名の方の健康・歯科・栄養に関する相談や血圧測定、検診案内等を行い、相談者の生活習慣の改善や適切な受診行動につなげることができた。
実績	・乳がん講座の開催 2回（代替あり） ・区民まつりで健康相談を実施 1回
総括	令和3年度に引き続きコロナ禍による市民の外出自粛や事業縮小の影響があったが、今後はWithコロナの中で事業の積極的实施と内容の充実化を目指す。特に、市民の健康については、ロコモ予防からより内容を充実させた「フレイル予防」に拡大し、市民のニーズに合った効果的な取り組みを行う必要がある。